NPO 法人 ヘルスケアリーダーシップ研究会

Institute for Healthcare Leadership

目次

1　理事長挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3

2　IHL の使命と活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4〜P5

3　IHL 活動実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

（1）IHL 参加者からの推薦コメント ・・・・・・・・・・P6〜P8

（2）研究プロジェクト活動事例 ・・・・・・・・・・・・・・・P9

（3）過去の講演テーマおよび講師 ・・・・・・・・・・P10~P11

4　IHL 組織概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12

NPO 法人 ヘルスケアリーダーシップ研究会
Institute for Healthcare Leadership

理事長挨拶

わが国のヘルスケアには様々な課題が山積しています。多くの人が論じ、その解の方向性は見えていても、新しい社会への変革は起きません。一体どうするべきなのか。私たちはその答えをリーダーシップに見つけました。

私たちがリーダーシップの教科書としている一冊の本があります。「リーダーとは、私たち一人ひとりが自分の生き方、生き様を問うことだ」という一節から始まるこの本「リーダーシップの旅」（野田智義著）は、私たちの前に道を拓きました。

著書の中でリーダーシップとは「見えないものを見る旅」とされています。ある人が夢を描き、それを実現に向けて一歩踏み出します。たった一人で歩き出した旅の途中で、自分の夢・生き様に誰かが共振し、旅のなかまが増えていく。一人の信念と行動が、多くのフォロワーを産み、社会を変革していくとダイナミズムを産むというのです。

ヘルスケアに携わる人が、国民の幸せと安心のために何を願い、自ら行動するのか。人の生死に深く関わるこの領域において、我々はどのような死生観を持って臨むのか。

その問いに真摯に応えるべく自分と向き合う場所、仲間と切磋琢磨する場所を創りたいと、NPO法人ヘルスケアリーダーシップ研究会／Institute for Healthcare Leadership(IHL)を創設しました。

年間12回のプログラムを通じて志と知性を磨く場「IHLセミナー」を中心に、様々な活動の場で多くの仲間と素晴らしい先輩方に出会い、皆さんのリーダーシップの道を見つけてください。

今年もまた、たくさんのリーダーシップの旅が生まれることを、心から願っています。

NPO法人ヘルスケアリーダーシップ研究会

理事長　武藤 真祐

IHLの使命と活動

■理念

人々が安心して幸福に暮らせるために、自らの志を磨き、ヘルスケアの場にインパクトを生み出すリーダーシップを醸成する

■IHLの魅力

・IHLに集う情熱と志溢れるメンバーとの切磋琢磨の機会
・IHLの一流の講師陣の志と見識に直に触れる機会
・IHL独自のリーダーシップ醸成プログラムによる自己開発の機会

■IHL2014の概要

IHL2014は、3つのコンテンツで構成されます。

①定例セミナー：年間12回のセミナープログラムを通じて、志と知性を磨きます。

②研究プロジェクト：少人数のグループで、数ヶ月かけて研究課題に取り組みます。
リアルな社会課題を取り上げ、実践的な解を導きます。
そのプロセスはリーダーシップ、フォロワーシップの醸成の機会です。

③交流・課外活動：「海外視察」「被災地復興視察」「地域医療」など、現地に赴き肌で感じるプログラムを予定しています。

■IHLアルムナイ

IHLアルムナイには、医師をはじめとした医療者や行政、企業、メディアなど、様々なバックグラウンドを持つメンバーが　200人以上所属しています。
IHLアルムナイメンバーは、ヘルスケアの中でも多様な専門性とキャリアパスを持つことが特徴で、国内外で活躍をしています。

IHLアルムナイの交流の場として、リアルなイベントの他、web上でのバーチャルネットワーキング・コミュニケーション（facebook　：IHLの卒業生Alumniと現役生のための非公開グループ）に努めています。

IHL2014セミナーでは9月20日の初回セミナーを皮切りに以下の内容を予定しております。講師およびIHL会員との双方向の対話によって「lead the self」「lead the society」について、そしてリーダーシップについて、より考えを深める企画を行なって参ります。

また、「机上の講義だけでなく、実践・チャレンジができる場」を提供するプログラムとなっています。皆様のご応募をお待ちしております。

IHLセミナープログラム（案）一覧

開催月	種別	日程	テーマ
9月	第1回	9月20日（土）	己を知る（スペシャルゲスト）
10月	第2回	10月18日（土）	ミッション・ステートメント
11月	第3回	11月1日(土) -3日(月)	IHL式　問題解決・ファシリテーション
12月	第4回	12月20日（土）	リーダーシップ（スペシャルゲスト）
1月	第5回	1月17日（土）	イノベーション（スペシャルゲスト）
2月	第6回	2月21日（土）	IHL研究プロジェクト：初回発表
3月	第7回	3月21日（土）	教養（スペシャルゲスト）
4月	第8回	4月18日（土）	IHL研究プロジェクト：中間発表
5月	第9回	5月16日（土）	死生観（スペシャルゲスト）
6月	第10回	6月20日（土）	決断（スペシャルゲスト）
7月	第11回	7月18日（土）	IHL研究プロジェクト発表・総括
8月	第12回	8月15日（土）	ミッション・ステートメント・シンポジウム

※この他に、石巻・海外等への視察、輪読会などの課外授業を予定しております。

IHL 活動実績

■（1）IHL参加者・卒業生からの推薦コメント

IHL の参加者の方々より、IHL について推薦コメントをいただきました。ご紹介いたします。

IHL2 期　友平 裕三 氏 ／ 大塚製薬株式会社 応用開発部情報管理課 課長

参加して先ず、参加者のモチベーションの高さには驚かされました。産官学、NPOから一流の先生を講師にお迎えし、懇親会では先生や熱の入ったメンバーと直接意見交換した活発な一年でした。何と言っても、にわかチームで朝まで徹底的に議論しつくした夏合宿では、「期限内にやりきった」という充実感とチームの一体感は、他では味わえない貴重な体験でした。　研修プログラムの中で繰り広げられる熱い議論を通して、自らの意見を持つことと、他人の意見を尊重すること、そしてそれを取り纏めることを学ばせて頂きました。全体を通して内容の濃い、実の有る研修会です。是非参加ください。

IHL4 期生　ラジェンドラ マヨラン 氏 ／ エンジニア、GE Healthcare

「ヘルスケア」を主軸として「社会をよりよくしよう」という高い志を持った仲間の集まり、深い議論をし、「自分の頭で考え」、「行動に移していく」場がIHLだと思っています。「志」だけでは、変革を起こせないので、そのために必要なスキルを身に着ける道場でもあります。高い理想を掲げていても、日々、様々な壁が立ちはだかり、自信を失いそうな時には、様々なフィールドで第一線で活躍されている講師の方々の力強い言葉が背中を押してくれるので、IHLは私にとっての「充電の場」でもあります。

IHL2 期　山田 洋太 氏 ／ 株式会社 iCARE 代表取締役・産業医

私は、沖縄の離島医療を経験した後、KBSに入学して2年目にIHLの活動に参加しました。現在は、病院の再建の仕事を一段落させ、産業医のための業務支援クラウド・サービスをやっているベンチャーを起業しています。そんな私が、IHLで感じた魅力と学びについてお話させて頂きます。IHLの強みは何と言っても普段出会うことのできない講師陣の講義を聞いて、さらに仲良くも出来るチャンスがあるということです。私はこの講師陣と仲良くなり、1人は私の会社の名付け親にもなりましたし、講演をKBSでも頼みました。もう1人はなんと4月から一緒に仕事をする関係にもなっているのです。人脈から広がるそれぞれの可能性、それを活かすも参加者次第ではないでしょうか。同様に、IHLに参加している様々なバックグラウンドの方々と合宿等で議論することで肩書のない「いち人間」としてのスタンスが求められている気がします。それはとても大切なことで、皆様のバックにある企業名や資格というもので自分が凄いんだと自信過剰になってしまうからです。真っ裸で世の中勝負してみましょうよ。そんなに楽しいことないのですから。IHLでの魅力と学びは、やっぱり「人」と出会えたことでお互いがより高いゴールを目指すことが出来る、そんな環境なのだと思います。私もまだまだこれから勝負をかけにいきます。しっかりと見ていてくださいね。ではでは〜Enjoy Your IHL Life!!!

IHL4 期生　朴　元浩氏 ／ 株式会社 YUWA 代表取締役

ベンチャー起業者として共感し背中を押してくれる人、製品に関心を寄せ顧客となってくれた人、一見、コンペチターなのだけど常に互いにエールを送り合う人。すべてこれIHLの仲間と自分との関係だ。時に青色吐息に成っても、なんとか会社をやり続けられるのも、IHLで培った仲間との交歓があるからといっていい。ただ、交歓は同窓の友情に起因するのみならず。IHLの活動を通じて掘り起こされるヘルスケアへの、メンバーそれぞれの熱い思いが下支えしていると私は考えている。

IHL1-3 期生　塩澤 耕平 氏 ／ 医療法人社団鉄祐会 祐ホームクリニック石巻

IHLは、「自分の『生きる道』を明確に出来る場所」だと思っています。「生きる道」とは、「ゴール」などという言葉ではなく、もっと大きな自分自身の人生の目的、「ミッション」ということです。では、どのようにそれを見つければいいのでしょうか。

みなさんは、「人間の死生観に関わる問題を、本質的に良くするためにどうするか？」という真剣な議論をしたことがあるでしょうか。それも、他人と対面で机を向かい合わせて、１０時間以上も真剣に。時にはぶつかり合い、時には理解し合う凝縮された時間。私は、これらを経験したことがありませんでした。でも、それが自分の「ミッション」を見つけるために必要なのです。自分の道を見つけることは、信念をぶつかり合わせることなのです。

IHLは、自分のミッションを、他者との議論で見つけていく場所なのだと思っています。

IHL4 期生　久我 修二 氏 ／ 慈恵会西田病院小児科部長

現状維持は衰退の始まりである。
医師になり10年目を過ぎた頃から閉塞感を感じるようになった。
これでよいのか？もっと何かできるのではないか？自分にしかできないことは何だ？...そんな漠然とした思いの中、日常をこなしている自分がいた。
そんな時、偶然(いや必然か？) IHLの存在を知る。
一歩進んで応募すると、そこには開放感があった! エネルギーを持て余している情熱的な仲間がたくさんいた! 魅力的で新鮮な場が用意されていた!
これだ!! っと感じた。自分の求めている世界がそこにあった!
日常をこなすこと、現状維持に満足出来ていない方へ伝えたい、
一歩進んでIHLの門を叩いてみてはどうだろう？

（２）研究プロジェクト活動事例

IHL の過去および現在進行形の研究プロジェクトをご紹介いたします。

いのちの教育プロジェクト

こころっコロ

小学生を対象に、死や生について考えるきっかけを提供することによって、命を大切にすることや、自己肯定感、生き抜く力を育てていくことを目指すプロジェクト。

高齢者の生きがいづくり

既に世界一の長寿国にして 2025 年に高齢化のピークを迎える我が国において、この状況に何かできないか？という意識を共有する 6 人で立ち上げたプロジェクトです。介護現場の施設長、自身の闘病経験から健康管理に関心の高い製薬会社勤務、若手臨床医師、医療系雑誌の編集長、地域活動に造詣の深い起業家、アーチスト活動も行う医療系人材会社役員が結集。世代間交流を生み出すポータルサイトを企画し、イベントを実施します。

低栄養なんとかし隊

高齢者は、栄養が足りていない！！ 在宅介護を受けている高齢者の 65% はたんぱく質やエネルギーが不足している「低栄養」状態。悪化すると死にもつながるということを「知らない」人が多いのが現状。どうしたら、高齢者やその周りにいる人がこの問題のリスクを知り、低栄養になってしまいそうな人に「気付いて」、「食べて」もらえるのか、コミュニティカフェの実施やアドバイザー養成などの取り組みを模索、実践しています。

（３）過去の講演テーマおよび講師

己のリーダーシップを知る

石川雄一氏　/　日本ヘルスサイエンスセンター及び株式会社ヘルストラスト代表
自治医科大学非常勤講師

妹尾輝男氏　/　コーンフェリー・インターナショナルジャパン社長

田中太加志氏　/　アルタス GEC 代表

伊賀泰代氏　/　キャリア形成コンサルタント

リーダーとしての決断

大石佳能子氏　/　株式会社メディヴァ代表取締役

岡田武史氏　/　前サッカー日本代表監督

濱田邦夫氏　/　元最高裁判所判事、弁護士

佐藤正久氏　/　参議院議員、元陸上自衛官１等陸佐「ひげの隊長」

岩瀬大輔氏　/　ライフネット生命保険株式会社 代表取締役社長

小暮真久氏　/　特定非営利活動法人　TABLE FOR TWO インターナショナル　代表理事

リーダーに必要とされる教養

尾身　茂氏　/　前自治医科大学地域医療学センター教授
独立行政法人 年金・健康保険福祉施設整理機構理事長

永井良三氏　/　東京大学大学院医学系研究科循環器内科教授

古川俊治氏　/　参議院議員、医師、弁護士

黒川　清　氏　/　特定非営利活動法人　日本医療政策機構理事長

死生観

船戸正久氏　/　淀川キリスト教病院前副院長

松濤諦雲氏　/　大徳寺龍泉庵住職

松岡広和氏　/　のぞみ教会牧師、元僧侶

移川普司氏　/　孝道山本仏殿道衆

本田美和子氏　/　国立国際医療研究センター医師

中下大樹氏　/　寺ネットサンガ　代表

志村季世恵氏　/　バースセラピスト

プロブレムソルビング、プレゼンテーション、コニュニケーション

門永宗之助氏　/　INTRINSICS 代表、元 McKinsey & Company

秦充洋氏　/　株式会社ケアネット創業者、元ボストンコンサルティンググループ

横山由加子氏　/　元 McKinsey & Company

小西賢明氏　/　ワイズストラテジックパートナーズ　社長、元 McKinsey & Company

世界の医療の現場

中田健夫氏　/　等潤病院手術部長。
元 NipponMedical Care, Gleneagles Hospital Singapore 臨床医

岡本一真氏　/　慶應義塾大学病院心臓血管外科

加藤良太朗氏　/　米国ミズーリ州、ワシントン大学医学部

森臨太郎氏　/　国際母子保健研究所所長 東京大学大学院公衆衛生学講座

鐘江康一郎氏　/　聖路加国際病院経営企画室

日本の医療　～今、何が問題なのか～

野村忠良氏　/　家族会 東京つくし会（東京都精神障害者家族会連合会）理事

井伊雅子氏　/　一橋大学国際・公共政策大学院教授

長　隆　氏　/　東日本税理士法人

伊関友伸氏　/　城西大学教授

村山 浩氏　/　ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社代表

医療政策

田中 滋氏　/　慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授

古川俊治氏　/　参議院議員、医師、弁護士

迫井正深氏　/　厚労省医政局企画官

八代尚宏氏　/　国際基督教大学 教授

ヘルスケアのパイオニアたち

武藤真祐氏　/　祐ホームクリニック院長

楊　浩勇氏　/　式会社日本アルトマーク社長

舩木良真氏　/　三つ葉在宅クリニック院長

本田　徹氏　/　NPO 法人シェア代表

医療ビジネス

目黒昭一郎氏　/　麗澤大学 国際経済学部 大学院国際経済研究科 教授
元バイエルメディカル（株）会長

大西昭郎氏　/　日本メドトロニック株式会社副社長

高橋希人氏　/　株式会社 LOTUS 社長

村山　浩氏　/　ヘルスケアマネジメントパートナーズ株式会社社長

関口　康氏　/　元ヤンセンファーマ代表

※経歴は、講演当時のものです。

IHL 組織概要

（1）役員

■理事長　　武藤真祐

医療法人社団　鉄祐会 祐ホームクリニック　理事長

一般社団法人　高齢先進国モデル構想会議　代表理事

石巻医療圏 健康・生活復興協議会　代表

内閣官房ＩＴ総合戦略本部 新戦略推進専門調査会 医療・健康分科会 構成員

経済財政諮問会議「選択する未来」委員会 人の活躍ワーキング・グループメンバー

厚生労働省 緩和ケア推進検討会 構成員

総務省 スマートプラチナ社会推進会議 構成員

総務省 在宅医療・介護分野における情報連携基盤の開発及び活用の実証に関する協議会 構成員

＜理事長略歴＞

医学博士、認定内科医、循環器専門医、米国医師資格試験合格、米国公認会計士、MBA。

1996 年東京大学医学部卒業。2002 年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。循環器内科、救急医療に従事後、宮内庁で侍医を務める。その後マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て、2010 年 1 月、東京都文京区に在宅医療診療所を開設、翌年 9 月には東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県石巻市に在宅医療診療所を開設。石巻市において、健康・生活面での支援団体 石巻医療圏健康・生活復興協議会を立ち上げ、現在に至る。

■副理事長

玉田寛　　（ブリストル マイヤーズ 株式会社 執行役員 メディカル・ファーマコビジランス統括部 部門長）

■理事

園田愛　　（医療法人社団鉄祐会　事務局長
一般社団法人高齢先進国モデル構想会議　理事
株式会社インテグリティ・ヘルスケア　代表取締役社長）

秦充洋　　（株式会社ミレニアムパートナーズ　代表取締役　グロービス経営大学院講師）

高須俊治　　（帝人ファーマ株式会社　マーケティング室　在宅医療学術部）

林伸宇　　（大森赤十字病院　祐ホームクリニック　こころっコロ代表）

■監事

圓山卓　　（IPAX 総合法律事務所　代表取締役社長）

（2）相談役

門永 宗之助氏（イントリンジクス代表）.

田中 滋氏　　（慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営管理専攻教授）

永井 良三氏　（自治医科大学学長）

林 弘一郎氏　（北カリフォルニア American College of Physicians の医療改革コミッティメンバー）

古川 俊治氏　（参議院議員、医師、弁護士、慶應義塾大学医学部外科教授、慶應義塾大学法科大学院教授）

■所在地

〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 25-5　KST ビル 3 階 IHL 事務局

【E-mail】IHL 事務局 < jimukyoku2.ihl@gmail.com >　※お問い合わせは左記のアドレス宛にお願い致します。